# 奈良県指定文化財調査票

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 調査日 | 2021 年 | 6 月 | 26 日 | 記入者 | 久門たつお | |
| 調査者名 | 饗庭 | 垣内 | 久門 | | | |
| | | | | | | |

| | |
|---|---|
| 文化財名 | 南阿田大塚山古墳 |
| 種類 | ☑ 史跡 ☐ 名勝 ☐ 天然記念物 ☐ 有形民俗文化財 ☐ その他（ ） |
| 指定年月日 | 1981年（平成56）3月17日 |
| 所在地 | 五條市南阿田町 |
| 所有者<br>管理者 | 国（財務省） |
| 員数 | 1基 |
| 時代区分 | 古墳後期の6世紀前半 |
| 樹木の場合 | （樹木名） （樹齢） |
| 案内板の状況 | 有り。県教委が1988年（昭和63）に設置したもので、板面に汚れはなく、文字も明瞭 |
| 公開 | 見学自由 |
| 保存状態 | ☐ 非常に良い ☐ 良い ☑ 普通 ☐ 悪い ☐ 非常に悪い<br>補足（ ） |
| 当面の課題 | 特に無し。五條市管理の古墳の一つで、市予算で年2回、墳丘一帯の雑草刈り取りが行われてきた。財政難で休止の案が出ているとのことだが、文化財保存の一環として持続していただくことを願う。 |
| 今後の課題 | 特に無し。丘陵の頂上付近にあり、周囲は樹木や竹が多く、豪雨等で土砂崩れ発生の影響を受ける危険性はまず無いと思われる。 |
| その他<br>（由緒など） | 橿考研の1980年（昭和55）の発掘調査では、墳丘は全長30㍍で、前方部の幅15㍍、高さ1･5㍍、後円部の直径21㍍、高さ3㍍。石棺等はなかったが、石室からガラス製の装身具、馬具類、武具類や須恵器の台付き壺などが発見され、その多くは五條市歴史博物館で展示されている。 |
| コメント | 古墳は五條市の吉野川左岸、下市町近くの丘陵にあり、県道脇から細い道を上っていく。ここで登場するのが驚きの親切案内板。「ここから230m。横穴式石室、中に入れます」に始まり、真っ直ぐ行きそうになる所では矢印案内板。その後も「あと120m」などと続き、ラスト約50mの急坂では「もう一息です」と励ましてくれる。五條市文化財課職員は「いつ設置したかの記録は残っていません。かつての五條市社会教育課が設置したのでは」と言う。当時の設置者の「古墳愛」を感じた。 |

# 奈良県指定文化財調査票（写真）

| 調査日 | 2021　年 | 6　月 | 26　日 | 記入者 | 久門たつお |
|---|---|---|---|---|---|

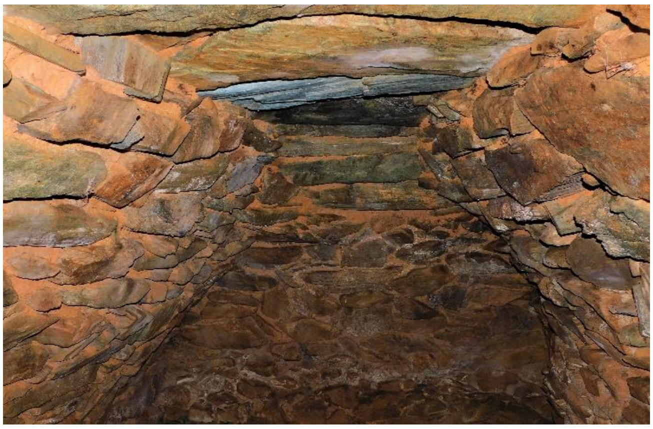
| 調査者名 | 饗庭 | 垣内 | 久門 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | |

| 文化財名 | 南阿田大塚山古墳 |
|---|---|

横穴式石室の南東に向いた開口部

全長30mの古墳の後円部（南から）

玄室内。正面が奥壁で、側壁は傾斜のある持ち送り



玄室から羨道方向。床面は玄室が低い

県教委設置の説明板

五條市設置の案内板（５枚のうちの３枚）